

第3回食育活動表彰 受賞事例発表会

～ 食がつなぐ人と未来 ～

第14回食育推進全国大会inやまなし
特別企画

6.29 (土)
13:00～14:30
アイメッセ 山梨 ホールA

事例発表者



有限会社蔵王マウンテンファーム
代表取締役 山川 喜市氏



山梨県立ひばりが丘高等学校 うどん部
顧問教諭 大久保 健氏



気まぐれ八百屋だんだん
店主 近藤 博子氏



山梨学院短期大学
食物栄養科 教授 深澤 早苗氏

コーディネーター：すみだ食育goodネット 顧問、第3回食育活動表彰審査委員 秋田 昌子氏

コメンテーター：東京大学大学院 農学生命科学研究科 教授、
第3回食育活動表彰審査委員長 中嶋 康博氏

料理家・洋菓子研究家（山梨県甲府市在住） 奥秋 曜子氏

場所：山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨 ホールA（山梨県甲府市大津町2192-8）

■ ■ ■ 農林水産省ホームページ ■ ■ ■

- 第3回食育活動表彰結果（受賞者の活動内容を取りまとめた事例集を掲載しています）

URL: <http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/hyousyo/3rd.html>

- 第14回食育推進全国大会 URL: <http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/taikai/14th.html>



農林水産省では、食育を推進する優れた取組を表彰し、その取組内容を広く国民に周知し、さらに食育が展開されていくことを目的として、食育活動表彰を行っています。



教育関係者・事業者部門 《農林漁業者等》 農林水産大臣賞

有限会社 蔵王マウンテンファーム

酪農は「いのち」を作り、育て、その「いのち」を売って社会へつなぐ仕事であり、人間は自然の「いのち」の恩恵を受けて生活しています。動物たちと暮らす山川牧場を活動の舞台に、オリジナルの体験プログラムの実施や、酪農の仕事について紙芝居を使ってありのままを伝える出張講座を行い、食と「いのち」と自然のサイクルと人間の密接な関わりについて考えるきっかけを提供しています。



ボランティア部門 《食育推進ボランティア》 農林水産大臣賞

山梨県立ひばりが丘高等学校 うどん部



部活動「うどん部」の活動として、郷土料理「吉田のうどん」を通し、特徴ある地元食文化の魅力を全国に伝えるべく「県内外のイベントでの出店」「新メニューの開発」「うどん店を紹介したフリーペーパーの発行」「直営のうどん店の開店」など、県内外の幅広い世代に対し情報発信・食文化伝承を行っています。また、山梨県「食の伝承マイスター」、富士吉田市「吉田のうどん観光大使」としても活躍しています。



教育関係者・事業者部門 《教育等関係者》 農林水産大臣賞

気まぐれ八百屋だんだん

子供が一人で安心して外食ができる場として「子供食堂」を始めました。大人も子供もみんなと一緒に食べるにより、心がなごみ、つながりが生まれ、思いやりの心、食への感謝の心にもつながっています。また、毎月1回「郷土料理教室」を開催し、食文化の伝承を学ぶきっかけをつくり、子供たちが料理を作る達成感を味わえ、技術を習得できる貴重な場となっています。



教育関係者・事業者部門 《教育等関係者》 消費・安全局長賞

山梨学院短期大学



山梨県や地元金融機関と連携協定を結び、本短期大学に地域連携研究センターを設置し、食育ボランティアの依頼受付や調整、学生へのボランティア情報の提供、活動支援を行う体制を整えています。また、地元金融機関が小学生以下を対象にケーキのデザインを募集し、未来のパティシエである学生が入賞作品を創作してプレゼントする「ドリームケーキプロジェクト」を実施し、食にかかわる楽しさや喜び、夢を提供しています。